

内閣総理大臣 安倍晋三 様  
国土交通大臣 石井啓一 様  
防衛大臣 岩屋 毅 様

2018年12月21日

## 大浦湾に土砂を投入したことに抗議し辺野古新基地建設の中止を求める

日本キリスト教婦人矯風会は、武力によって平和は創れないことを訴えます。

沖縄は太平洋で本土の防衛の役を振られ、県民は凄惨な戦いに巻き込まれました。敗戦後は長く占領軍アメリカの支配のもと屈辱的な生活が続きました。戦後の日本の復興から長く取り残され、基地を押しつけられてきた沖縄の苦悩の歴史に私たちは負い目を覚えています。

1995年米兵による少女暴行事件が起こり、県民の怒りが高まったことに起因し、日米政府は普天間飛行場の全面返還を合意しましたが、沖縄県内に代替施設を作る条件が追加されました。辺野古沖に撤去可能なヘリポートを建設することが決められました。辺野古沖は希少動物ジュゴンが生息し、世界的にも非常に貴重な生物多様性の海です。矯風会は美しい海が基地のために壊されることに反対し続けてきました。大浦湾は沖縄が自立して生きていくうえで欠かすことのできない貴重な資源でもあります。

しかるに2006年日米政府は辺野古沿岸部の埋め立てに合意し、V字滑走路の恒久的巨大基地建設案となりました。沖縄県民は選挙で、県議会で、県民大会で反対意見を表明してきました。現職の知事を破って翁長剛志知事を誕生させ、県の出来得るあらゆる手段を使って政府に働きかけましたが、翁長知事は志半ばで倒れ沖縄はリーダーを失いました。9月、遺志を継いだ玉城デニー知事は大量得票し、自公政権の候補者に8万票もの差をつけて勝利しました。辺野古基地建設に対する沖縄の民意は明らかです。政府は本土から機動隊を動員し、住民の抗議行動を強権的に排除し工事を進めてきました。民主主義国家の政府としてあり得ない手段を使い、ついに12月14日大浦湾に土砂を投入しました。

調査の結果軟弱地盤であることが判明し、埋め立てにふさわしくない地盤であることが指摘されています。東アジアの安全保障情勢が変化し、海兵隊が沖縄に駐留する軍事的意義も問い直されています。今辺野古に新基地建設の正当な理由があるのでしょうか。建設にかかる2,6兆円は日本政府が負担することになっています。少子高齢化の厳しい財政状況からも米国の戦争のために巨額な支出をすることは認められません。

普天間飛行場の危険を除去、唯一の解決策は辺野古移転と政府は繰り返しますが、軍港を提供し、弾薬庫を設置することは、移転ではなく新たな基地の提供です。危険性の除去は密集地での飛行を中止し、軍事訓練をしないことです。

沖縄に寄り添うとの政府の言葉とは裏腹な政府の対応に憤りを覚えます。私たちは政府に沖縄の民主的な主張、手続きを尊重し、真摯に向き合うことを強く求めます。

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会



〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

Tel.03-3361-0934 Fax03-3361-1160